

わかるって楽しい!

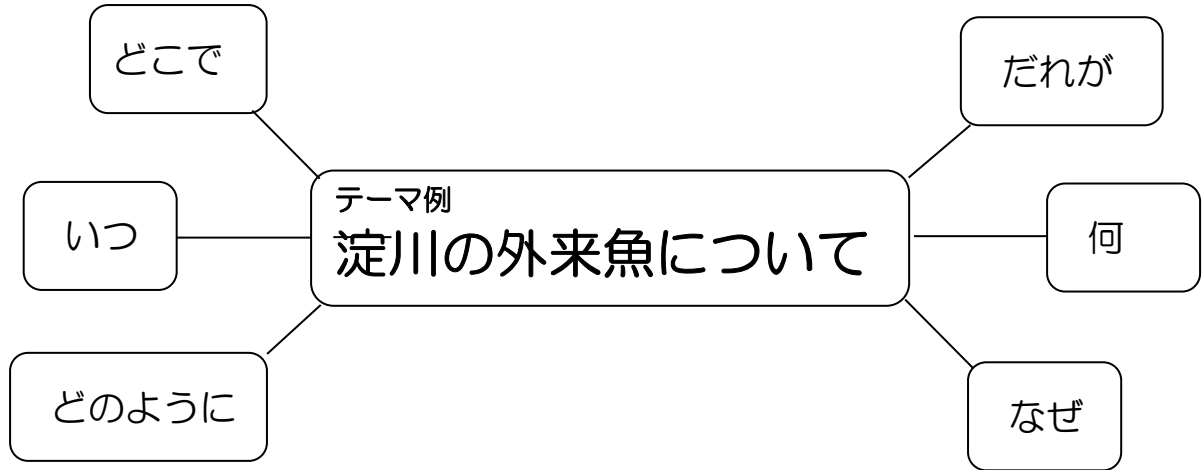
『調べ学習のコツ!』

～中学生の調べ学習コンクール・ガイド2026版～



1. 調べたいテーマを考えてみよう!

* ジャンルから、自分の興味のあること、疑問や気になること、わからないことを思いうかべ、書き出してみよう。思い浮かべたテーマで下のようなイメージマップを作ると、アイデアが浮かびやすくなるよ。

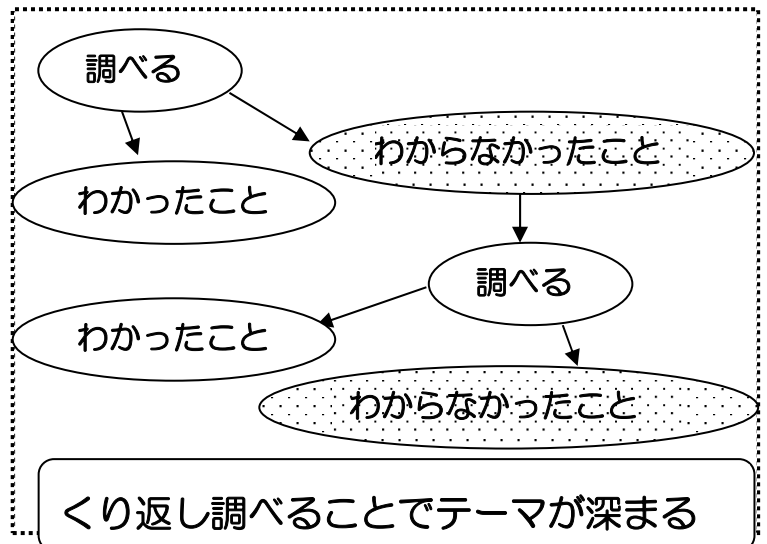


<イメージマップ>

テーマは調べる途中で変わってもいいよ!

* 調べていくと、最初に考えていたことと違うテーマにたどりつくこともあります。そのときは、テーマを変えてもかまいません。

調べることで、テーマが深まり、自分だけのテーマが見つかります。



2.調べ方を考えよう！

<調べ方の方法や注意点>

調べ方	具体的な方法	気をつけること
新聞や本などを使って調べる	<ul style="list-style-type: none"> *学校図書館、公共図書館（近くの枚方市立図書館など）で調べる。 *百科事典、図鑑、年鑑、白書、地図、年表、統計など、調べ物に役立つ資料がある。 *本の目次や索引（巻末）から見つける。 	<p><情報が信頼できるものか確認しよう！></p> <ul style="list-style-type: none"> *本の出版年を見て、情報が古くないかを確認する。（出版年は本の最後（奥付）に載っている。） *調べたいこと、そのものズバリの本がなくてもあきらめないで。逆に、1冊の本だけの情報で調べ物を終わらないで、<u>2冊以上の本を調べてみよう。</u>
インターネットで調べる	<ul style="list-style-type: none"> *調べたい言葉（キーワード）で検索すると、いろいろな情報が探せる。 *複数のキーワードを調べるときは、スペースを空けながら検索欄にキーワードを入力すると検索できる。 	<p><情報が信頼できるものか確認しよう！></p> <ul style="list-style-type: none"> *ホームページの発信元・発信時期・更新年月日、アクセス年月日を確認。（誰がいつ発信しているかをよく見る。） ⇒古い情報のページが残っていることがあるので気をつける。 *信頼性が高いホームページを見る ⇒市町村・公共の団体のホームページなど。 *<u>2つ以上のホームページを確認したり、本などで調べたりして、比べてみる。</u>
人に聞く取材する	<ul style="list-style-type: none"> *まわりの大人（家族、地域の人）や、友だちに聞く。 *図書館、博物館、資料館などで専門の人に聞く。 *電話・手紙・ファックス、メールなどで尋ねる方法もある。 	<ul style="list-style-type: none"> *初めに、本やインターネットでできるだけ多くの情報を集めて下調べをして、「どこまでわかったか」「どこがわからなかったか」をまとめてから聞きに行くとわかりやすい。 *質問の内容も伝えて、聞きに行ってもいいか、相手の都合を確かめてから聞きに行こう。
観察する体験する	<ul style="list-style-type: none"> *観察したり、実際にやってみたりすることで、わかることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> *自分の目で見たり確かめたりしたことをまとめるので、時間がかかることもある。余裕を持ってしよう。

これ、大事！

複数の情報を調べることで、その情報が正しいものか、確認してみよう。

ひとつのホームページの内容を丸写しするのではなく、それ以外のホームページや図書館の本を調べるなど、複数の情報から考えてみよう。

3.調べたことを記録しよう！

<記録しておくこと>・・・カードに書いたり、ノートやファイルも利用してみよう。

- (1)疑問のきっかけ。⇒なぜそのテーマを調べようと思ったのか。
- (2)調べる内容。⇒疑問を解決するために何を調べていくのか。
- (3)何で調べたか。⇒本、新聞、ホームページ（インターネット）、人など
- (4)調べた内容とその結果わかったこと、考えたこと。

*写真、新聞の切り抜き、リーフレットなどは整理しよう。

- (5)調べたことで浮かんだ疑問や次の課題を記録する。

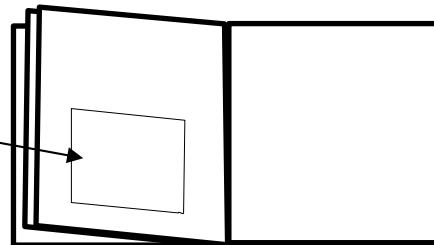
※記録するときの注意点

- ① 参考にした資料（本・新聞・雑誌）は、書名・著者名・出版社・出版年月日を記録する。
- ② インターネットで調べたときは、Web ページ名・Web ページを製作した人・団体名・更新日(閲覧日)・URL（ホームページのアドレス）を記録する。
- ③ 人から話を聞いたときは、聞き取った日時、人の名前、その人の立場（例：〇〇図書館職員など）を記録する。
- ④ 人から聞いた（取材）内容は、書いて発表してもいいか確かめておく。
- ⑤ 観察したり体験したりした場合は、その日時と場所を記録する。
- ⑥ 人から聞いたことや調べた内容は、自分の意見と区別して記録する。

おくづけ
<本の奥付>

(本の後ろ(巻末))

書名・著者名・出版社・出版年
が書いてあります。



4.調べた記録をまとめて作品にしよう！

- (1) 調べたことを整理する。
- (2) 発表する内容にまとめていく。

*テーマを選んだ理由 ⇒ 調べようと思ったきっかけを書く。

*研究計画・方法 ⇒ どんな方法で調べたかを書く。

- ・ 文献検索方法（本・ホームページなど）、取材、アンケート、観察・体験などの計画、方法などを書く。

*内容 ⇒ わかったことの中から、自分の伝えたいことをまとめていく。

- ・ テーマを解決するために、資料を読む、取材、実験、観察などをしてわかったことを書く。
- ・ いろいろ調べたことから、どんなことを取り上げて書くのか、その順番を考える。…構成を考える。(目次のようなもの。)

- ・ 何が問題なののはっきりさせ、調べてわかったことを具体的に説明する。
- ・ 時間の流れに沿って並べる。
- ・ 多くの資料を比較検討する。
- ・ グラフや図表化して目で見てわかりやすいように書く。
- ・ 文字は丁寧に正確に書く。

*まとめ ⇒ テーマを解決するために調べたことについて、自分の考えや思ったこと、工夫したこと、苦労したことなどを書く。

5.重要ポイント 出典を書こう

他の人が書いたり、調べたりしたことを書くときは、「 」でくくって、自分の意見や考えとは別であることをはっきりさせる。

特に、本などの資料からの引用文の時は、書名・著者名・出版社・出版年・引用文の掲載ページを記入する。書き写した本だけではなく、参考にした本も

★本を参考にした場合 ⇒ 書名・著者名・出版社・出版年を書く。

例. 『〇〇〇〇』 枚方太郎著 △△社 2021年

★ホームページ（インターネット）を参考にした場合

⇒ Web ページ名・Web ページを製作した人・団体名・更新日(閲覧日)・URL を書く。

例. 『枚方市ホームページ』 枚方市

更新年月日 2026年7月1日

<http://www.city.hirakata.osaka.jp>

★新聞を参考にした場合 ⇒ 新聞紙名・出版年月日を書く。

例. 『〇〇新聞』 2026年3月1日 夕刊

